

令和4年度 九州クルーズ振興協議会総会



「ぱしぷいっく びいなす」
(日本クルーズ客船(株))



「にっぽん丸」(商船三井客船株式会社)



「飛鳥Ⅱ」(郵船クルーズ株式会社)

日時：令和4年7月28日(木) 13時30分～14時10分
場所：TKP ガーデンシティ博多新幹線口 4-A



九州クルーズ振興協議会

議題（１）令和３年度 事業報告

1. クルーズ船の九州各港への寄港状況（R3.1～R3.12）

令和３年の九州（下関を含む）へのクルーズ船の寄港回数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う運航休止により 21 回（速報値：外国船社 0 回、日本船社 21 回）となった。

休止状態（令和２年２月から外国船社、３月から日本船社の寄港無し）となっていたクルーズ船の九州への寄港は、感染予防対策マニュアルの認証を受けた日本船社の国内クルーズによって、令和２年 10 月に佐世保港に寄港したことにより再開されたが、外国船社の入港再開は見通せない状況となっている。

管内クルーズ船寄港回数 (単位：回)

地 域		福岡県		佐賀県	長崎県		熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	山口県	合 計
		北九州港	博多港		長崎港	その他					下関港	
令和３年	全体	4	0	0	1	3	0	4	6	3	0	21
	外国船	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和２年	全体	1	14	0	10	4	0	2	4	7	0	42
	外国船	0	14	0	9	3	0	0	0	3	0	29
令和元年	全体	20	229	11	183	89	22	21	18	156	23	772
	外国船	20	205	9	178	78	17	11	11	104	22	655

(情報提供：九州地方整備局)

2. 総会及びセミナーの開催

(1) 「総会」の開催

令和３年度の総会については、新型コロナウイルス感染予防対策のため、書面協議となった。

日 時：令和３年 6 月 29 日（火）
場 所：書面開催

〈議 題〉

- (1) 令和２年度事業報告について
- (2) 令和２年度収支報告について
- (3) 令和３年度事業計画（案）について
- (4) 令和３年度予算（案）について
- (5) 役員改選（案）について

(2) クルーズセミナー

令和3年度は、「九州クルーズセミナー」の2月開催（WEB）を検討していたが、オミクロン株が発生し、感染拡大が見込まれる状況であったことから、中止とした。

3. クルーズ行事への協賛・後援

(1) 諸会議・イベントへの参加、後援等

「下関港クルーズフェスタ 2022」の後援

- ・下関市の依頼により、クルーズに対するイメージ悪化・誤解の払拭と「安全性・魅力・楽しさ・地域への貢献」等の紹介によりクルーズ振興に繋げることを目的として開催するクルーズフェスタを後援（九州運輸局としての後援）

共 催：下関市、下関港湾協会、山口県

後 援：九州地方整備局、九州運輸局、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会、
（一社）日本外航旅客船協会（JOPA）、日本国際クルーズ協議会（JICC）

日 時：令和4年3月19日（土） 13：30～16：30

会 場：シーモールホール(オンラインライブ放送)

概 要：基調講演①ウィズコロナ時代の世界のクルーズ動向と今後の展望
基調講演②クルーズ旅 楽しさとその魅力
パネルディスカッション

参加者：約100名

クルーズイベント（同時開催）：クルーズ入門講座、クルーズ映像紹介、抽選会等

4. 広報・宣伝活動

(1) 協議会ホームページの更新

- ・九州におけるクルーズ情報の発信や会員相互間の情報共有を促進する有力なツールとして、平成26年2月19日に開設。以後、適宜コンテンツの充実を図っている。
- ・令和3年度についても新着情報を掲載し、情報の発信を行った。
- ・令和3年度にはホームページのリニューアルを行い、スマートフォンやタブレット端末への画面対応やセキュリティ機能等の向上を図った。

【 <http://www.kyushu-cruise.com/> 】

5. その他

(1) 会員の動向

- ・令和3年度 入会会員 1者
退会会員 なし
- ・令和4年7月28日現在 会員数 68者
オブザーバー 4者

(2) 参考資料

- ・クルーズ船の九州（下関を含む）への寄港状況

議題（2）令和3年度 収支報告



1. 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	増減	備考
会費	310,000	310,000	0	
利子	4	5	1	預金利息増
前期繰越金	604,243	604,243	0	
合計	914,247	914,248	1	

2. 支出の部

事項	項目	予算	決算	増減	内訳
事業費	・HP維持管理費	300,000	187,880	▲112,120	22,330 (HP維持管理費)
	・HPリニューアル費				165,550 (HPリニューアル費)
通信費	・文書等発送代・事務費	20,000	18,600	▲1,400	
会議費	・お茶代、講師謝金	30,000	0	▲30,000	
予備費		564,247	0	▲564,247	
合計		914,247	206,480	▲707,767	

次年度繰越金額（収入－支出）

（収入決算額）914,248－（支出決算額）206,480＝707,768円

収 支 状 況 報 告

令和3年度収支状況について確認を行ったので、次のとおり報告
します。

1. 確認年月日及び確認範囲

令和4年4月28日

令和3年度収支

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)


2. 確認概要

確認の結果、現金の収支及び各種証拠書類の保管状況は良好
と認められる。

収支についても、予算の目的に適合して使用されていた。

令和4年4月28日

確認者 公益社団法人九州海事広報協会

常務理事 鹿毛 幸一郎 

議題(3)令和4年度 事業計画(案)

1. 感染症予防対策に係る活動

- 新型コロナウイルス感染予防対策の情報共有及び今後のクルーズ船の本格運航に向けたクルーズセミナーを開催する。
 - 有識者による、安全・安心なクルーズ船の入港に向けたウィズコロナ・アフターコロナのクルーズ振興等についての講演。
 - クルーズ船社や各港湾管理者等から、これまでの感染症予防対策や改善点及び今後の課題等についての情報交換。
 - 国際クルーズの再開に向けた安全対策(ガイドライン等)がとりまとめられた場合の情報共有。

※新型コロナウイルスの感染状況及びクルーズ船の入港状況を踏まえ、以下の事業で実施可能な事業を継続して実施する。

2. クルーズ関係行事への協賛・後援活動

- 各港湾管理者等からの要請に応じ、クルーズ船の初入港歓迎式典等に協賛する。
- クルーズセミナー、シンポジウム等本協議会の目的に沿った行事が開催される場合にあっては、主催者からの要請に応じて協賛、後援等必要な協力を行う。

3. 広報・宣伝活動

- 本協議会ホームページにおいて、会員と連携して、クルーズの魅力を発信するとともに、会員が実施するキャンペーン情報等を掲載する。
- クルーズ振興のため、九州における観光に資する情報を発信する。
- ホームページの内容を充実する等により当協議会の趣旨への賛同者を増やし、新規加入を促進する。

4. その他の活動

- 当協議会の活動に対する意見・要望等を整理し、会員のニーズに応じた取り組みを強化する。

議題（４）令和４年度 予算（案）



1. 収入の部 （単位：円）

項目	予算	備考
会費	320,000	・4年度1者入会
利子	5	・昨年度と同額
前期繰越金	707,768	・昨年度予算 604,243
合計	1,027,773	

2. 支出の部 （単位：円）

事項	項目	予算	備考
事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、船内見学等の開催 ・クルーズ船初入港歓迎式典等 ・HP維持管理費 ・調査等 	400,000	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度予算 300,000 昨年度決算 187,880 (昨年度：セミナーは中止) ・セミナー 対面・WEB併用により開催 ・HP維持管理費増額 22,000 → 26,400(税込) <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により外国船籍の九州への入港は不透明であるが、クルーズ再開に向けたセミナーや見学会等の開催を見込むとともに、セミナーについてはコロナ対策としてWEB併用開催とするため、昨年度より増額とした。</p>
通信費	・文書等発送代	20,000	・昨年度予算 20,000、昨年度決算 18,600
会議費	<ul style="list-style-type: none"> ・総会お茶代 ・講師謝金等 	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度予算 30,000 ・昨年度決算 0（総会は書面開催、セミナーなし）
予備費		557,773	・昨年度予算 564,247
合計		1,027,773	

※本年度は、事業費を削減し予備費として次年度以降の予算とする。

議題（5）役員改選

【現役員体制】

会長	竹島 和幸 公益財団法人 九州運輸振興センター会長 (西日本鉄道株式会社 相談役)	改選
副会長	小笠原 朗 公益社団法人 九州海事広報協会会長 (阪九フェリー株式会社 代表取締役社長)	非改選
副会長	桂原 耕一 一般社団法人 日本旅行業協会九州支部 支部長 (株式会社 JTB 執行役員 九州エリア広域代表)	非改選

(九州クルーズ振興協議会規約抜粋)

(役員を選任)

第7条 会長は、本協議会会員の互選とする。

2. 副会長は、会員の中から会長が本協議会の承認を得て指名する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

2. 任期途中の就任者は前任者の残余期間とする。

議題（5）役員改選

【新役員体制】

会長	青柳 俊彦 公益財団法人 九州運輸振興センター会長 (九州旅客鉄道株式会社 取締役会長)	新任
副会長	小笠原 朗 公益社団法人 九州海事広報協会会長 (阪九フェリー株式会社 代表取締役社長)	非改選
副会長	桂原 耕一 一般社団法人 日本旅行業協会九州支部 支部長 (株式会社 JTB 執行役員 九州エリア広域代表)	非改選

(九州クルーズ振興協議会規約抜粋)

(役員を選任)

第7条 会長は、本協議会会員の互選とする。

2. 副会長は、会員の中から会長が本協議会の承認を得て指名する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

2. 任期途中の就任者は前任者の残余期間とする。